

危機管理会議

日時：平成 24 年 5 月 3 日（木）12:00 ～

場所：県庁 3 階 特別会議室

協議事項

- 1 乾燥しいたけからの放射性物質検出事例について

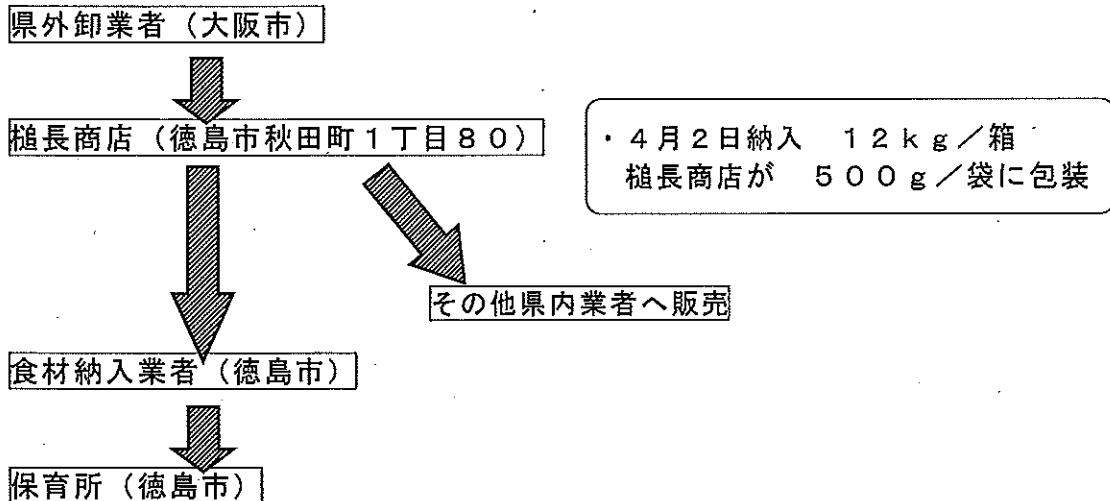
「乾燥しいたけ」からの放射性物質検出事例について

1. 経緯

平成24年5月2日 徳島市保育課から県に、徳島市の認可保育所に対し給食食材業者が販売している「乾燥しいたけ」を保護者が購入検査した結果、高い値の放射性セシウムが検出されたとの報告があった。

2. 流通状況

当該品の流れ



3. 検査結果

5月2日 食肉衛生検査所にて検査（測定機器：ゲルマニウム半導体検出器）

- ① 保護者が4月23日に食材納入業者（徳島市）で購入し、民間業者へ検査依頼した残品（4月2日納入分）

検査結果： Cs-134 405 Bq/kg (検出限界 12.4 Bq/kg)
Cs-137 616 Bq/kg (検出限界 9.73 Bq/kg)
Cs合算 1,021 Bq/kg

$$1,021 \div 5.7 \text{ (乾燥しいたけ重量変化率)} = 179 \text{ Bq/kg}$$

基準値：一般食品 100 Bq/kgのため 基準値オーバー

- ② 5月2日 榎長商店において徳島保健所が確保した乾燥しいたけ（4月2日納入分：規格外品）

検査結果： Cs-134 129 Bq/kg (検出限界 6.96 Bq/kg)
Cs-137 220 Bq/kg (検出限界 6.75 Bq/kg)
Cs合算 349 Bq/kg

$$349 \div 5.7 \text{ (乾燥しいたけ重量変化率)} = 61 \text{ Bq/kg}$$

基準値：一般食品 100 Bq/kgのため 基準値以下

なお、食品安全委員会による「放射性物質の食品健康影響評価」では、生涯における追加の累積の実効線量で、おおよそ 100mSV 以上で健康影響が見い出されるとされている。

このため、仮に、今回の 179 Bq/kg の乾燥しいたけを 100g 食べたとしても、0.275 μ SV (0.000275mSV) の内部被曝であり、単一の内部被曝として健康影響を評価した場合、健康上、問題のない数値である。



狹

狹

深
山
の
香

500g